

4月14日、4月24日

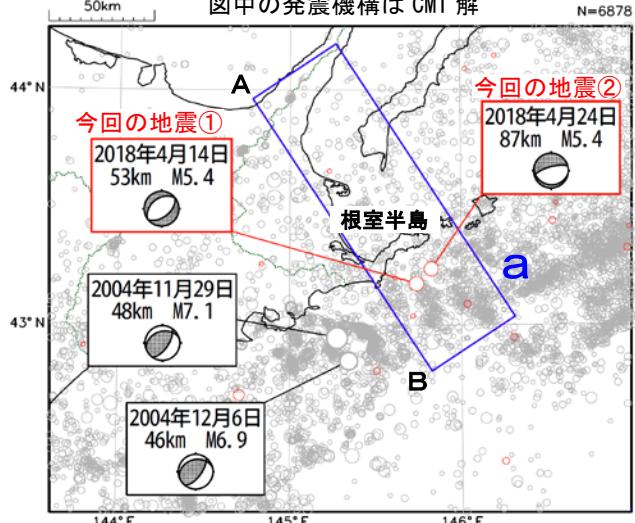
根室半島南東沖の地震

震央分布図

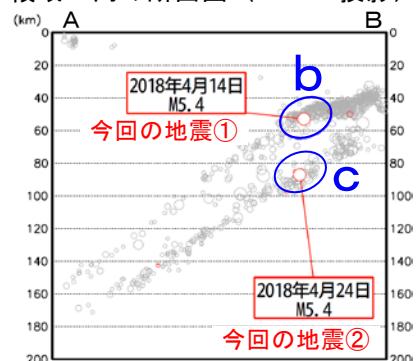
(2001年10月1日～2018年4月30日、
深さ0～200km、M≥2.5)

2018年4月の地震を○で表示

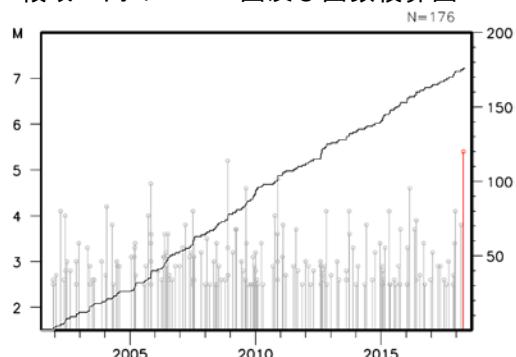
図中の発震機構はCMT解



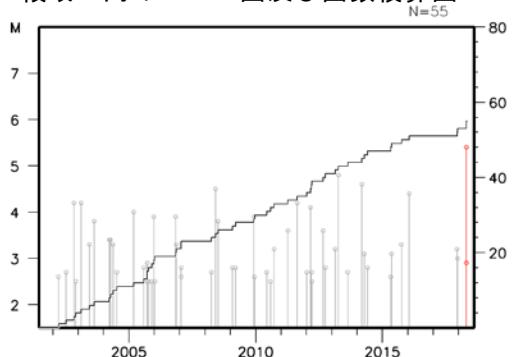
領域a内の断面図(A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図及び回数積算図

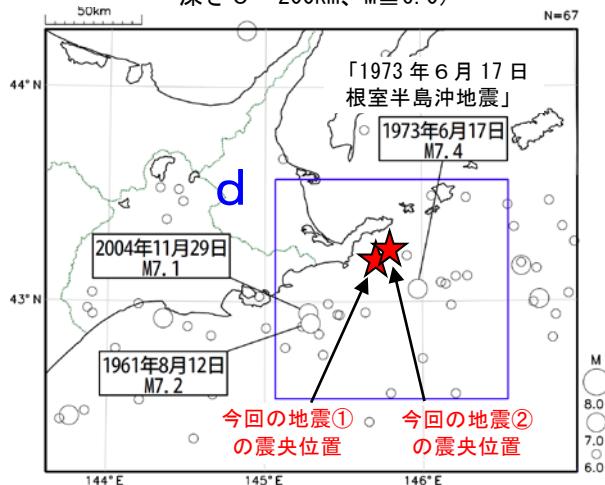


2018年4月14日04時00分に根室半島南東沖の深さ53kmでM5.4の地震（最大震度5弱）（今回の地震①）が発生した。この地震は発震機構（CMT解）が北西-南東方向に張力軸を持つ正断層型で、太平洋プレート内部で発生した。24日17時53分には、今回の地震①の震央付近の深さ87kmでM5.4の地震（最大震度4）（今回の地震②）が発生した。この地震は発震機構（CMT解）が太平洋プレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型で、太平洋プレート内部（二重地震面の下面）で発生した。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震①の震源付近（領域b）では、今回の地震①を含めてM5.0以上の地震が2回発生している。また、今回の地震②の震源付近（領域c）では、M5.0以上の地震が発生したのは今回の地震②が初めてである。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域d）では、M7.0以上の地震が3回発生しており、最大規模の地震は「1973年6月17日根室半島沖地震」（M7.4、最大震度5）で、負傷者28人、住家被害5,153棟などの被害が生じた。また、根室市花咲で280cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した。（「昭和48・49年災害記録 北海道」による）。

震央分布図
(1923年1月1日～2018年4月30日、
深さ0～200km、M≥6.0)



領域d内のM-T図

